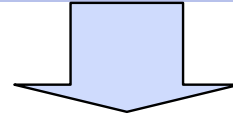


制度の理解を深めるための取組（年金個人情報の定期的な通知）

【平成20年4月～】

問題意識

現役世代、特に若い世代の年金制度に対する理解を深め、信頼・安心を高める。
若い時代から将来の年金給付を実感できるわかりやすい仕組みや運営が必要。



年金個人情報の通知

被保険者に保険料納付記録等の年金個人情報の定期的な通知を行う。
その際、被保険者個々人の保険料納付実績を年ごとに点数化して表示する仕組み（ポイント制）を導入する。

ポイント制の意義

被保険者個々人が自らの拠出実績を確認し、将来受給する年金が着実に増加していくことを実感できる。
加入者からみて、年金額の算定式が分かりやすい。

ポイント制の仕組み

$$\text{ポイント} \times \text{ポイント単価} = \text{年金見込額}$$

(基礎年金と厚生年金それぞれについて表示)

ポイント：保険料納付とともに蓄積（厚生年金は毎年の賃金に応じた保険料納付実績を点数化して表示、基礎年金は保険料納付済期間を点数化して表示）

ポイント単価：原則として、年金改定率により毎年改定

年金見込額：原則として、法律上の給付算定式から算定される年金見込額と一致

ポイント制は、年金の着実な増加を分かりやすく表示するための個人情報の通知上の仕組みとする。